

緑の相談コーナーだより

NO. 335 2013. 5 . 1 発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

身近な樹木 “ハナイカダ” (花筏)

～葉の表面にぽつんとひそやかに花をつける木～



Helwingia japonica DIETR.
ハナイカダ

ミズキ科のハナイカダは、日本各地（北海道南部、本州、四国、九州）や中国に分布する落葉低木です。高さは2 m前後で、太さは4～5 cmくらいになり、幹はよく束生分岐し、枝は緑色または紫褐色となります。初夏の頃に、葉の中央に短い柄をもった、直径4～5 mmで、3～4枚の花びらをもった、淡緑色の花をつけます。

雄の木と雌の木があって、雄花は数個、雌花は1～3個が、葉の表面の真ん中につきます。なお、雄花は花弁4枚で雄しべ4本、雌花は花弁3枚で1個の雌しべがあることが多いようです。花が終わると子房は緑色の核果になって、やがて黒く熟します。このように、花や果実

が葉の中央につく樹木は、ハナイカダのほかにはありません。なお、黒熟したハナイカダの実、小鳥が好んで食します。

属名の *Helwingia* は、植物誌を著したドイツの牧師ヘルヴィンクの名にちなみます。なお、この仲間は東アジアとヒマラヤに3種、日本に1種分布するのみですが、変種で葉が小さいコバノハナイカダが、関東地方の南部以西に分布するほか、葉の厚いリュウキュウハナイカダが沖縄地方に分布します。

ハナイカダの名の由来ですが、花が葉の中央に集まり咲くことから、葉を筏に、花をその上に乗る人に見立てたものといわれます。また、別和名としてヨメノナミダやママッコの呼び名がありますが、ママッコは、丸い果実のことを米粒に例えたものかどうか？なお、漢名には青莢葉が用いられます。

用途は庭園樹や花材とする外、若葉を食用にします。四方に開いた葉や、さわやかな緑の若枝は、昔から文人や茶人に好まれ、よく庭に植えられ、華道の花材として愛

でられてきました。

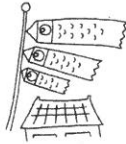
栽培するには、やや湿った半日陰がよく、増殖は、株分けや挿し木のほか、実生増殖も容易です。



黒熟したハナйкаダの果実

花筏^{つぼ}蕾^{くま}みぬ限^もなき葉色の面に

中村草田男



バラ園

公園だより



今年は、3月に入って猛吹雪になったり、4月も3寒4温の日が続き、例年に比べ雪解けが大幅に遅れてしまいました。このためか、土の臭いが懐かしく、春の訪れが待ち遠しい思いをされた方が多かったのではないのでしょうか。それでも、やっと5月の暖かい日差しを迎え、園芸愛好家の皆さんには、忙しくも、また楽しい季節となりました。今月のバラ園は、緑の若芽が輝きを増してきております。7月のバラサミットに向けた一部の工事も忙しく行われていますが、黄金色のレンギョウの花に続いて、北国に春を告げる樹であるキタコブシの花が咲き、公園内のサクラの花も満開になることと思います。春を迎えたバラ園を、ぜひ覗いて見て下さい。

♥今月のバラ園からの一口メモは、バラの分類についての豆知識です。バラとは、バラ科バラ属の総称で、大きく分けると3つに分類されます。まずは「原種」と栽培バラに大別され、栽培バラをさらに、フランスの育種家によって1867年に作出、発表されたHTラフランスの誕生を境に、それ以前の系統のバラを「オールドローズ」、以降の系統を「モダンローズ」としています。なお、最近ではイギリスの育種家デイビット・オースチンが生み出したバラの一群が「イングリッシュローズ」と呼ばれ、注目されています。因みに、世界でバラを国花としているのは、イギリス、ポルトガル、ルクセンブルグ、ルーマニア、ブルガリア、モロッコ、イラン、イラク、シリア、サウジアラビアなどバラの原産地です。日本国内で、バラを県花としているのは茨城県だけで、「いばら」という言葉がバラを指すことによります。道内市町村では、岩見沢市と札幌市白石区が市花（区花）と定めています。

色彩館では、ハナミズキの花が終わり、代わってタイサンボクの花蕾がふくらみはじめています。また、壁面のツルバラでは、モッコウバラが咲いているほか、ピエール・ドゥ・ロンサールやシティ・オブ・ヨークなどが間もなく満開になるでしょう。

南国温室では、ブーゲンビレアやエンゼルス・トランペットが間もなく花をつけることと思います。ストレリチア（極楽鳥花）やアナナスなどの花々は、今も咲き続けており、ここは別世界です。

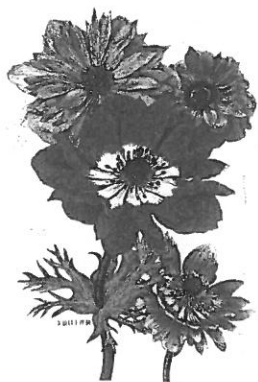
相 談 日 記

問 お花見の季節がやってきましたが、あちこちの小公園や街路、広場などに植えられたサクラの中には、あまりよく育っていないものが目立ちます。枝が枯れてきているものや樹皮が剥がれ、樹幹が腐れてきているもの、植えてすぐ枯れてしまったものなど見かけます。サクラをうまく育てるためにはどのようなことに気を付けたらよいのか、一般的にサクラを育てる上での注意事項や手入れの方法などについて知りたいのですが？

答 サクラは日本の国花でもあり、私達にとって、この花が咲かないと春を実感することができないほど、大切な樹木になっています。このサクラをうまく育てるには、サクラという樹木の一般的な特性について知ることが必要でしょう。まず、①サクラは陽光を好む陽樹ですので、陰地では花芽のつきが悪くなります。②土壌としては乾燥地をきらい、排水のよい適潤で肥沃な土壌や砂壤土を好みます。③低湿地を嫌うので、地下水の高い低湿地では、根腐れを起こし育ちません。④ほとんどのサクラの品種は浅根性なので地表面を踏まれるのを嫌います。⑤枝（とくに太枝）の剪定部分から腐り込み易く、また切り口からの萌芽力が弱い⑥連作を嫌い、嫌地現象をおこすので、明らかに土壌病害などが発生している場合は、徹底的な土壌消毒や、土の入れ替えが必要です。⑦大木の移植は難しいので、移植後の水分条件を整えてやる必要があります。⑧ヤマザクラや大部分のサトザクラは亜硫酸ガスなどの大気汚染に弱い。⑨寒風により、枝や幹に凍傷害がおき、そこから病原菌が侵入して枝枯病や胴枯病、腐朽病などの病気になり易い。ざっと以上のような特性を持っていることを知っておくと管理に役立つと思います。

サクラの主な日常管理のポイント ①腐朽の激しい枝は、幹または枝のつけ根の生きている部分から切除し、切り口には必ず殺菌癒合剤を塗布します。腐朽の軽微な枝や不要枝の切除は必要最小限にとどめ、切断後は同様の処置を施しましょう。②幹の一部が腐朽して子実体（キノコ）が発生しているものは、キノコを除去する。③定期的な巡回調査を行い、病害による活力の低下がみられる時は、適宜処置する。とくに、てんぐ巣病など伝染力のある病気を発見した場合は、罹病枝の根元から切断し、殺菌癒合剤を塗布し、被害枝は焼却します。④食葉性害虫は、早期発見、早期防除に努める。また、幹に低濃度の有機リン剤を塗布し、コスカシバ等の穿孔性害虫の防除に努める。⑤毎年花が終わったら有機質入りの化成肥料を主体に肥料を施しましょう。

ギリシャ神話にも登場する優美な花～アネモネ 花言葉 待ち人来る



アネモネは、キンポウゲ科アネモネ属の多年草です。地中海原産で耐寒性があり、別名ボタンイチゲ、ハナイチゲなどの名前で親しまれております。16世紀にヨーロッパで栽培が始まり、わが国には明治初年に渡来しました。改良品種が多く、花色は白、赤、青、紫、絞りなど、きわめて豊富で八重咲き種もあります。植物名の由来である学名 *Anemone* は、ギリシャ語で「風の娘」の意味で、早春の風が吹き始める頃に花をつけ始めることによると言われます。一方、花の女神フローレスに使えた妖精アネモネの化身との説もあります。そろそろ入手時期になりますが、山草的に扱うほとんどの種は、日当たりのよい場所か、半日陰のところが適しています。排水のよい、よく肥えた土地を好みます。また、夏はあまり暑くならない所で栽培しましょう。耐寒性は一般に強いので、ロックガーデンに植えるのもよいでしょう。増殖は、春に株分けするか実生によります。種子は、秋に取りまきするか、早春に播種します。

5月の園芸講座・行事案内

市民園芸講座の内容紹介

♣ 岩見沢公園の山野草を楽しもう

日時 5月 12日(日) 9:30～12:00

講師 山野草研究家 北本 毅 さん 定員 40人 参加料 無料

♣ 楽しい家庭菜園作りⅡ

日時 5月 12日(日) 13:00～15:00

講師 園芸研究家 横山 弘 さん 定員 40人 参加料 無料

♣ 皆んなで楽しむ洋ラン栽培

日時 5月 19日(日) 13:00～15:00

講師 えるむ花園社長 川面 豊樹 さん 定員 40人 参加料 無料

♣ 小品盆栽・苔玉の楽しみ方

日時 5月 26日(日) 13:00～15:00

講師 岩見沢樹石会 吉川 茂 さん 定員 40人 参加料 無料



編集・発行 北海道グリーンランド（空知リゾートシティ株式会社）

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111 まで